

I-O DATA

マルチメディア液晶ディスプレイ

LCD-MF241Xシリーズ

取扱説明書

株式会社 **アイ・オー・データ機器**

M-MANU200422-03

もくじ

はじめに	2
安全にお使いいただくために.....	3
液晶ディスプレイの回収・リサイクルについて ...	13

お使いになる前に **15**

箱の中には.....	16
固定ピンについて.....	17
名称・機能.....	18
本体 正面.....	18
本体 背面.....	19
リモコン.....	20

準備をする **23**

接続する.....	24
パソコンを接続する.....	24
他の機器を接続する.....	26
USB機器を接続する.....	30
アームを取り付ける.....	32

リモコンの操作について.....	34
パソコンで使う.....	35
便利な使い方.....	36

操作について **39**

画面操作について	40
アスペクト比について.....	41
子画面機能の使い方.....	42

設定/調整をする	45
設定/調整方法（基本操作）	46
設定/調整方法	48
子画面設定	48
映像設定（HDMI、D映像、ビデオ）	50
音声設定	52
その他設定	53
困ったときには	55
チャートで対処法をチェック！	56
Q & Aで対処法をチェック！	60
ふろく	61
お問い合わせ	62
修理について	63

はじめに

このたびは、「LCD-MF241Xシリーズ」（以下、「本製品」と表記します。）をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用前に本書をよくお読みいただき、正しい取り扱いをお願いします。

■本書で説明していること

本書ではパソコン、ビデオの接続方法、サポートソフトのインストール、ビデオを見るための操作方法について説明しています。

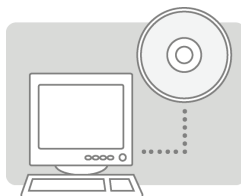
その他の詳しい説明は、「画面で見るマニュアル」をご覧ください。

「画面で見るマニュアル」には、パソコン接続時の表示の調整/設定方法や、本製品の仕様について記載されています。



画面で見るマニュアルの参照方法

- 1 添付の「LCDシリーズサポートソフト」（CD-ROM）を、CD-ROMドライブにセットします。
→自動的にオートランメニューが表示されます。






- 2 「画面で見るマニュアル」をクリックし、「LCD-MF241X」を選択後、「マニュアルを読む」ボタンをクリックします。
→「画面で見るマニュアル」が表示されます。

安全にお使いいただくために

お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。

ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。

■警告および注意表示

 危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を示しています。
 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人体に多大な損傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性又は物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■絵記号の意味



この記号は注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。

記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。



例) 「発火注意」を表す絵表示



この記号は禁止の行為を告げるものです。

記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。



例) 「分解禁止」を表す絵表示



この記号は必ず行っていただきたい行為を告げるものです。

記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。



例) 「電源プラグを抜く」を表す絵表示

危険



分解禁止

本製品を修理・分解・改造しないでください。

火災や感電、破裂、やけど、故障の原因となります。
修理は弊社修理センターにご依頼ください。分解したり、改造した場合、保証期間であっても有料修理となる場合があります。



電源プラグを抜く

煙が出たり、変な臭いや音がしたら、すぐに使用を中止してください。

電源を切って、AC コンセントからプラグを抜いてください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

警告



厳守

本製品をお使いになる場合は、本製品を接続する機器やその周辺機器のメーカーが指示している警告、注意表示を厳守し、正しい手順でお使いください。

警告・注意事項を無視すると人体に多大な損傷を負う可能性があります。
また、正しい手順で操作しない場合、予期せぬトラブルが発生する恐れがあります。本製品を接続する機器やその周辺機器のメーカーが指示している警告、注意事項、正しい手順を厳守してください。



厳守

本製品の取り扱いは、必ず本書で接続方法をご確認になり、以下のことにご注意ください。

- 作業の前に、本製品を接続する機器およびその周辺機器の電源を切り、AC コンセントからプラグを抜いてください。
プラグを抜かずに作業を行うと、感電および故障の原因となります。
- 接続ケーブルなどの部品は、添付品または指定品をご使用ください。指定品以外を使用すると火災や故障の原因となります。
- ケーブルにものをのせたり、引っ張ったり、折り曲げ・押しつけ・加工などは行わないでください。火災や故障の原因となります。
- 接続するコネクタやケーブルを間違えると、コネクタやケーブルから発煙したり火災の原因となります。



厳守

本製品の移動の際は、まず本製品を接続している機器・周辺機器および本製品の電源を切り、ACコンセントからプラグを抜いてください。

プラグを抜かずに移動を行うと、感電および故障の原因となります。



水ぬれ
禁止

本製品をぬらしたり、水気の多い場所で使用しないでください。

- 火災・感電の原因となります。お風呂場、雨天、降雪中、海岸、水辺でのご使用は、特にご注意ください。
- 表示面に水滴などをつけたまま放置しないでください。水滴などがついた場合は、すぐに脱脂綿や柔らかい布などで拭き取ってください。放置しておくと表示面が変色したり、シミの原因となります。また、水分が内部へ浸入すると、故障の原因になります。



ぬれ手
禁止

ぬれた手で本製品を扱わないでください。

感電や、本製品の故障の原因となります。



厳守

決められた電流内で使用してください。

出力電流の絶対最大定格を超えた電流で本製品を使用すると、火災・感電・故障の原因となります。



禁止

故障や異常のまま、通電しないでください。

本製品に故障や異常がある場合は、必ず接続している機器から取り外してください。また、本製品に通電をしないでください。そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。



厳守

本製品はAC100V専用です。指定以外の電源電圧で使用しないでください。



禁止

液晶パネルから漏れた液体（液晶）には触れないでください。

誤って液晶パネルの表示面を破壊し、中の液体（液晶）が漏れた場合には、液体を口にしたり、吸い込んだり、皮膚につけないようにしてください。万が一、液晶が目や口に入った場合は、すぐに水で5分以上洗い、医師の診断を受けてください。また、皮膚や衣服に液晶が付着した場合は、すぐにアルコールなどで拭き取り、石鹸で水洗いしてください。そのまま放置すると、皮膚や衣服を傷めるおそれがあります。



厳守

ACケーブルについては、以下にご注意ください。

- 必ず添付または指定の AC ケーブルを使用してください。
- AC ケーブルを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。
- AC ケーブルを AC コンセントから抜く場合は、必ずプラグ部分を持って抜いてください。ケーブルを引っ張ると、断線または短絡して、火災および感電の原因となることがあります。
- AC ケーブルの電源プラグは、ぬれた手で AC コンセントに接続したり、抜いたりしないでください。感電の原因となります。
- 本製品を長時間使わない場合は、AC ケーブルを電源から抜いてください。AC ケーブルを長時間接続していると、電力消費・発熱します。
- 電源プラグはほこりが付着していないことを確認し、根本までしっかり差し込んでください。ほこりなどが付着していると接触不良で火災の原因となります。



感電注意



発火注意



厳守

ACケーブルのアースリード線については、以下にご注意ください。

- 故障・漏電時の感電防止のため、必ずアースリード線を接地（アース接続）してください。
- アース接続は、必ず電源プラグを AC コンセントにつなぐ前に行ってください。
- アース接続を外す場合は、必ず電源プラグを抜いてから行ってください。
- アースリード線を AC コンセントに挿入、接触させると、火災・感電の原因になります。



アース接地する



感電注意



発火注意



厳守

梱包用のビニール袋については、以下にご注意ください。

- 梱包用のビニール袋は、幼児や子供の手の届かないところに保管してください。ビニール袋をかぶったりすると、窒息の恐れがあります。
- 可燃物ですので、火のそばに置かないでください。



厳守

電池の液が漏れたときは以下の指示に従ってください。

直ちに火気より離してください。漏液した電解液に引火し、破裂、発火する原因となります。

電池の液が目に入ったり体や衣服につくと、失明やけが、皮膚の炎症の原因となります。

液が漏れたとき ➡ 漏れた液に触れないように注意しながら、直ちに火気より離してください。

液が目に入ったとき ➡ 目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の診察を受けてください。

液が体や衣服についたとき ➡ すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い流してください。皮膚の炎症やけがの症状があるときは、医師に相談してください。



厳守

電池の使用、保管時等に発熱したり、異臭を発したり、変色、変形、その他今までと異なる場合は使用を中止し、弊社サポートセンターにご連絡ください。



厳守

電池は乳幼児の手の届かない場所に置いてください。

電池は飲み込むと、窒息や胃などへの障害の原因となります。

万一、飲み込んだとき ➡ ただちに医師に相談してください。



禁止

電池を充電しないでください。

液が漏れて、けがややけどの原因となります。



厳守

電池の廃棄にあたっては、地方自治体の条例または規則に従ってください。



注意



禁止

本製品は以下のような場所で保管・使用しないでください。

故障の原因になることがあります。

- 振動や衝撃の加わる場所
- 直射日光のあたる場所
- 湿気やホコリが多い場所
- 湿度差の激しい場所
- 熱の発生する物の近く（ストーブ、ヒーターなど）
- 強い磁力・電波の発生する物の近く（磁石、ラジオ、無線機など）
- 水気の多い場所（台所、浴室など）
- 傾いた場所
- 静電気の影響の強い場所
- 腐食性ガス雰囲気中（Cl₂、H₂S、NH₃、SO₂、NO_xなど）

《使用時のみの制限》

- 保温、保湿性の高いものの近く
（じゅうたん、スポンジ、ダンボール、発泡スチロールなど）
- 製品に通気孔がある場合は、通気孔がふさがりやすい場所



禁止

本製品は精密部品です。以下のことにご注意ください。

- 落としたり、衝撃を加えたりしない
- 本製品の上に水などの液体や、クリップなどの小部品を置かない
- 重いものを上にのせない
- 本製品内部およびコネクタ部に液体、金属、たばこの煙などの異物を入れない



注意

眼精疲労について

ディスプレイを見る作業を続けるときは、作業場を 300～1000 ルクスの明るさにしてください。また、連続作業をするときは、1 時間に 10 分から 15 分程度の休憩をとってください。長時間ディスプレイを見続けると、眼に疲労が蓄積されます。



厳守

ケーブルについて

- ケーブルは足などに引っ掛からないように、配線してください。足を引っ掛けると、けがや接続機器の故障の原因となります。
- 熱器具のそばに配線しないでください。ケーブル被覆が破れ、接触不良などの原因になります。
- 動作中にケーブルを激しく動かさないでください。接触不良およびそれによるデータ破壊などの原因になります。



厳守

本体についた汚れなどを落とす場合は、柔らかい布で乾拭きしてください。

- 洗剤で汚れを落とす場合は、必ず中性洗剤を水で薄めてご使用ください。
- ベンジン、アルコール、シンナー系の溶剤を含んでいるものは使用しないでください。
- 市販のクリーニングキットを使用して、本製品のクリーニング作業を行わないでください。故障の原因となります。



禁止

本製品を結露させたまま使わないでください。

時間をおいて、結露がなくなってからお使いください。
本製品を寒い所から暖かい場所へ移動したり、部屋の温度が急に上昇すると、表面・内部が結露する場合があります。
そのまま使うと誤動作や故障の原因となる場合があります。



禁止

本製品（ソフトウェア含む）は、日本国内仕様です。

本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、およびアフターサービスなどを行っておりません。あらかじめ、ご了承ください。



厳守

電波障害について

他の電子機器に隣接して設置した場合、お互いに悪影響を及ぼすことがあります。特に近くにテレビやラジオなどがある場合、雑音が入ることがあります。その場合は次のようにしてください。

- テレビやラジオなどからできるだけ離す。
- テレビやラジオのアンテナの向きを変える。 ● コンセントを別にする。



手をはさまない

ディスプレイの角度および高さ調整時に、指をはさまないように気をつけてください。

けがの原因となることがあります。



禁止

指定の電池以外は使わないでください。

指定した形以外の電池を使用した場合、故障の原因となります。



禁止

電池について、以下のことにご注意ください。

発熱、破裂、発火、液漏れにより、けがややけどの原因となります。

- 火の中に入れてたり、加熱したりしないでください。
また、60℃以上の場所、車中に放置しないでください。
- 水などでぬらしたりしないでください。
- (+) (-) を逆に接続しないでください。
- (+) (-) を金属類で短絡させたり、はんだ等を使用しないでください。
- ネックレスやヘアピン等の金属と一緒に持ち運ばないでください。
- 定格条件以外での使用をしないでください。
- くぎを刺したり、分解・改造をしないでください。
- 投げる、ハンマーでたたくなどの強い衝撃を与えないでください。
- 電子レンジや高圧容器に入れないでください。
- 容量、種類、銘柄の違う電池を混ぜて使わないでください。



厳守

電池を使い切ったときや、長時間使用しないときは取り出してください。

電池を入れたままにしておくと、過放電により液が漏れ、けがややけどの原因となります。万一、液漏れしたときは、乾いた布などで電池ケースの周りをよく拭いてから、新しい電池を入れてください。



注意

添付の電池は動作確認用の物です。 ご使用の際は、新しい電池をご用意ください。



厳守

本体背面の固定ピンは、梱包材を取り外した後、水平な台などの上に立てた状態で抜いてください。

横にしたまま固定ピンを抜くと、スタンドが勢いよく引き伸ばされ、本製品が体に当たったり落下したりしてけがや故障の原因になることがあります。

お取り扱い

画面の焼き付きを防ぐために

同じ画面を長時間表示させていると画面の焼き付きを起こすことがあります。焼き付きを防ぐために次のことを行ってください。

- パソコンやディスプレイを使用しないときは電源を切ってください。
- なるべく、省電力機能またはスクリーンセーバー機能をご使用ください。

ディスプレイの設置場所

- 風通しの良い所へ設置してください。
内部の温度上昇を防ぐため、通気孔をふさがないでください。
- 高温にならない場所へ設置してください。
直射日光のあたる場所、ストーブのような熱器具の近くに置くと、故障の原因になります。
- 屋内に設置してください。
屋外で使用できる構造にはなっていないので、故障の原因になります。
- 腐食性ガスの発生しない場所、振動のない場所に設置してください。
油煙や腐食性ガスの発生場所、振動が継続する場所に置くと、故障の原因になります。

お手入れのために

- 表示面が汚れた場合は、脱脂綿か柔らかいきれいな布で軽く拭き取ってください。
- 表示面以外の汚れは、柔らかい布に水または中性洗剤を含ませて軽く絞ってから、軽く拭いてください。ベンジンやシンナーなどの溶剤は避けてください。
- 表示面に水滴などをつけたまま放置しないでください。水滴などがついた場合はすぐに脱脂綿や柔らかい布などで拭き取ってください。放置しておくと表示面が変色したり、シミの原因になります。また、水分が内部へ侵入すると故障の原因になります。

廃棄について

本製品内のバックライトの中には水銀が含まれています。ごみ廃棄場で処分されるごみの中に本製品を捨てないでください。ディスプレイの廃棄にあたっては、地方自治体の条例または規則にしたがってください。

バックライトについて

本製品に使用しているバックライトには寿命があります。

(「画面で見るマニュアル」【ハードウェア仕様】参照)

画面が暗くなったり、チラついたり、点灯しないときは、新しい液晶パネルへの交換が必要です。

※ ご自分で交換は絶対にしないでください。交換等につきましては、弊社サポートセンターへお問い合わせください。

※ 液晶パネルおよびバックライトは1年間保証となります。

・液晶パネルは非常に高価です。有料による液晶パネル交換は高額になることをあらかじめご了承ください。

・「画面で見るマニュアル」の【ハードウェア仕様】内のバックライトの寿命は目安です。ご利用条件により異なることもございますので、あらかじめご了承ください。

その他

- ご使用にならないときは、ほこりが入らないようカバーなどをかけてください。
- 表示部の周囲を押さえたり、その部分に過度の負担がかかる状態で持ち運んだりしないでください。ディスプレイ部が破損するおそれがあります。
- ディスプレイ部の表面は傷つきやすいので、工具や鉛筆、ボールペンなどの固いもので押ししたり、叩いたり、こすったりしないでください。
- 表示面上に滅点(点灯しない点)や輝点(点灯したままの点)がある場合があります。これは、液晶パネル自体が99.9995%以上の有効画素と0.0005%の画素欠けや輝点をもつことによるものです。故障あるいは不良ではありません。修理交換の対象とはなりませんので、あらかじめご了承ください。
- 本製品の取り付けや取り外しのときは、必ず、パソコン本体および周辺機器の電源を切ってから行ってください。
- 本製品の修理は弊社修理センターにご依頼ください。送付先については巻末を参照してください。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。

この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。



■高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品

JIS C 61000-3-2 適合品とは、日本工業規格「電磁両位性-第3-2部：限度値-高調波電流限度値(1相当たりの入力電流が20A以下の機器)」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です



資源有効利用促進法、JIS C 0950 に定める化学物質の含有情報は
<http://www.iodata.jp/jmoss/>をご参照ください。

液晶ディスプレイの回収・リサイクルについて

弊社では製品のリサイクルの容易さや電力消費の抑制など環境負荷を軽減する製品開発を進めてまいります。

本製品の電子部品、プリント基板、金属部品等には、重金属（鉛、クロム、水銀、アンチモン）、フッ素、ホウ素、セレン、シアン、ヒ素などが含まれる場合があります。

液晶ディスプレイ製品の回収・リサイクルにご協力をお願いいたします。



法人のお客様は

弊社では、法人のお客様がご不要になった弊社製 液晶ディスプレイ製品の回収・リサイクルのご案内や料金のお見積もりを行っております。詳細は下記窓口までお問い合わせください。



ご家庭でお使いのお客様は

弊社では「資源有効利用促進法」にもとづき、ご家庭で排出される弊社製 液晶ディスプレイのリサイクルを実施しています。

回収された液晶ディスプレイは、新たな資源として生まれ変わります。この取り組みを通じて、弊社はユーザーの皆様とともに地球環境保全の活動を進めてまいります。

回収・リサイクルのご案内、お申し込みについては、下記リサイクル窓口「アイ・オー エコステーション」にて承ります。

¥料金について



リサイクル

液晶ディスプレイ本体の「PCリサイクルマーク」の有無により料金が異なります。なお、PCリサイクルマークがない弊社製液晶ディスプレイを2003年10月1日以降にご購入、ご家庭でご利用いただきましたお客様には、弊社が無料でPCリサイクルマークを提供し、回収・再資源化いたします。詳細は弊社ホームページをご覧ください。

<http://www.iodata.jp/support/>



■リサイクル窓口

「アイ・オー エコステーション」専用ダイヤル

電話：076-260-3616

※受付時間 9：30～12：00/13：00～17：00 月～金曜日（祝祭日を除く）

※リサイクルに関するお問い合わせのみ承っております。

その他のご質問につきましては、「お問い合わせ窓口」へご相談ください。

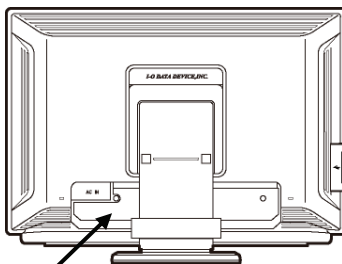
※「お問い合わせ窓口」は、【お問い合わせ】（62ページ）を参照してください。

memo

お使いになる前に

ご使用の前に、箱の内容物、各部の名称・機能を確認します。

箱の中には.....	16
固定ピンについて.....	17
名称・機能.....	18
本体 正面.....	18
本体 背面.....	19
リモコン.....	20



シリアル番号 (S/N) について

ユーザー登録をする際や弊社ホームページよりサポートソフトをダウンロードする際にS/N(シリアル番号)が必要な場合があります。S/Nは本製品の背面に貼られているシールに印字されている12桁の英数字です。

(例: ABC1234567ZX)

▼S/N (シリアル番号) をメモしてください。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

●ユーザー登録

⇒ <http://www.iodata.jp/regist/>

●サポートソフトのダウンロード

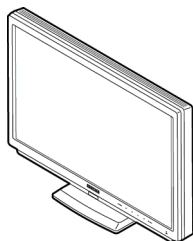
⇒ <http://www.iodata.jp/lib/>

箱の中には

箱の中には以下のものが入っています。

にチェックをつけながら、ご確認ください。

液晶ディスプレイ本体



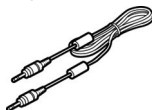
リモコン



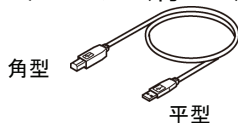
単3形乾電池（動作確認用 2個）



オーディオケーブル（約1.8m）



USBケーブル（約1.8m）

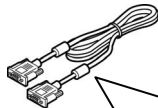


LCDシリーズサポートソフト
（CD-ROM）

取扱説明書（本書）

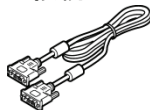
ハードウェア保証書（1枚）

アナログ接続ケーブル（約1.5m）

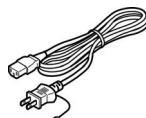


PC-9800シリーズおよびApple Macintoshシリーズでアナログ接続ケーブルをお使いになる際には、別途市販の変換アダプターが必要になる場合があります。

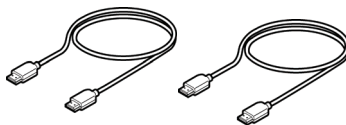
デジタル接続ケーブル（約2m）



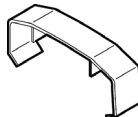
ACケーブル（約1.8m）



HDMIケーブル（2本 約2m）



ケーブルホルダー（1個）



- 万一、不足がございましたら弊社サポートセンターまでお知らせください。
- 箱・梱包材は大切に保管し、修理などの輸送の際にお使いください。
- 付属品の形状は記載の内容と若干異なる場合があります。

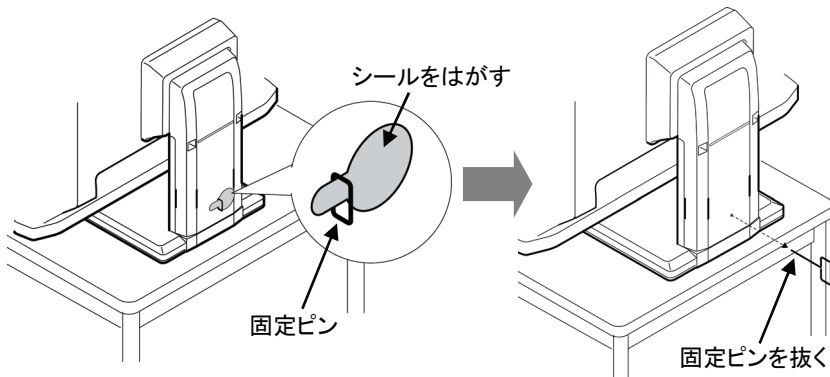
固定ピンについて

■固定ピンを抜くとき

梱包時、本製品は固定ピンで固定されています。
以下の手順で、固定ピンを抜いてください。

1 箱から取り出し、緩衝材を取り外します。
まだ、固定ピンは抜かないでください。

2 机などの水平な台の上に置きます。
次に、シールをはがして固定ピンを抜きます。



■固定ピンを付けるとき

本製品の修理を依頼するときなどの再梱包時には、台座を一番低い位置にして固定ピンを差し込んでください。



注意

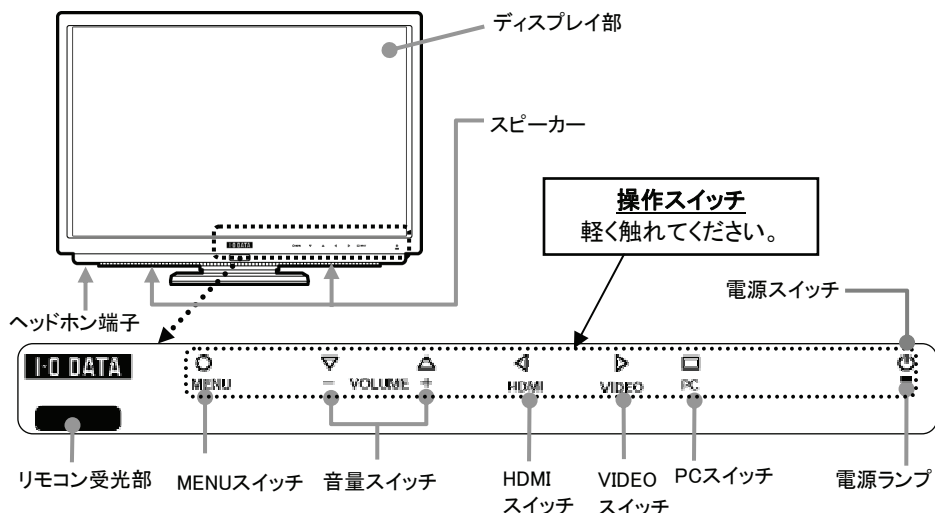
横にしたまま固定ピンを抜くと、スタンドが勢いよく引き伸ばされ、本製品が身体に当たったり落下したりして、けがや故障の原因となることがあります。

また、固定ピンは、本製品の修理を依頼するときなど、再梱包時に必要となりますので、お客様のわかりやすい場所に大切に保管してください。

名称・機能

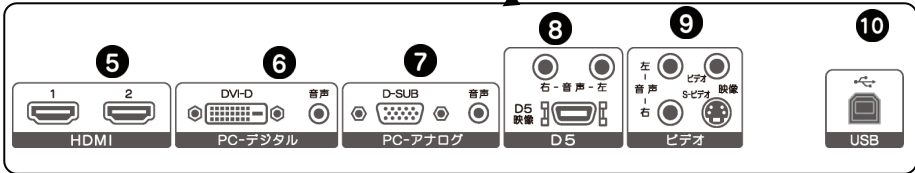
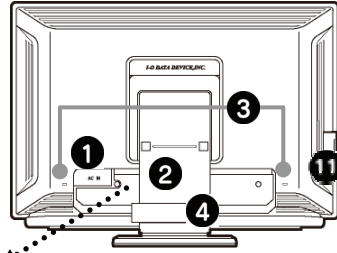
以下の図を参照しながら、各部分の名称と機能をご確認ください。

■本体 正面



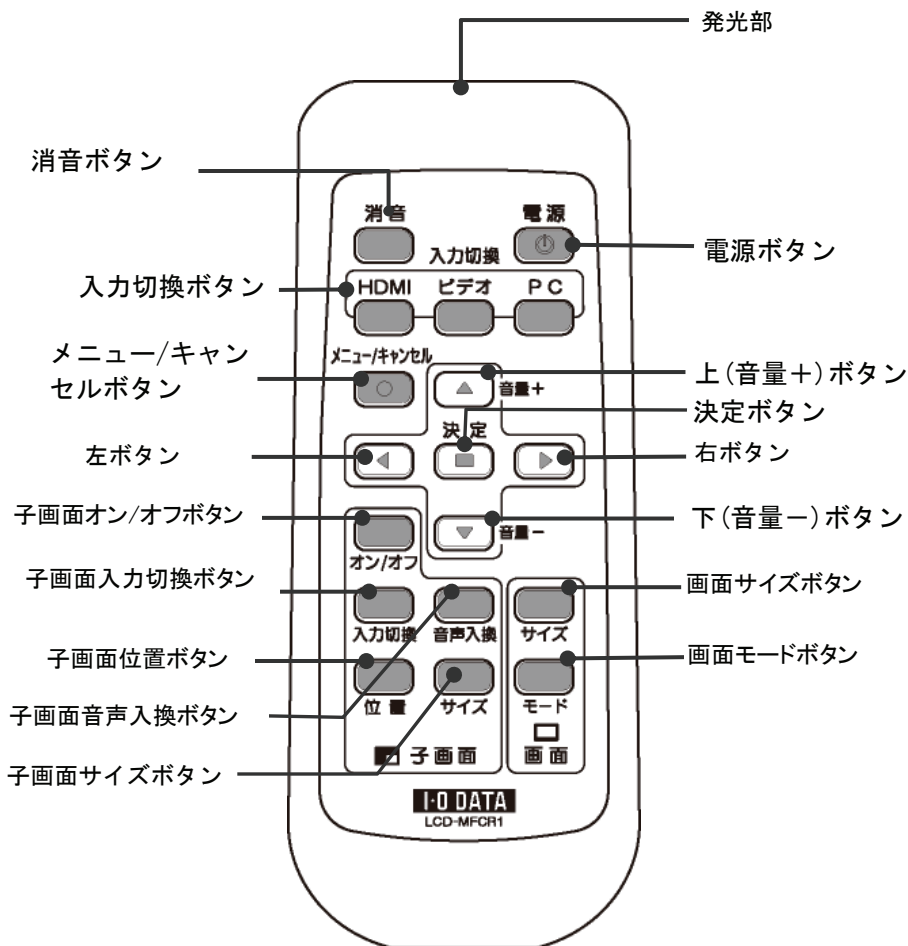
名称	機能
ディスプレイ部	映像を表示します。
スピーカー	ステレオ音声を出力します。
ヘッドホン端子	ヘッドホンやスピーカーを接続します。 ※ヘッドホン端子使用時は、本体内蔵のスピーカーからは音声は出力されません。(ボタン操作音は出力されます。)
電源スイッチ	電源を入/切します。
リモコン受光部	リモコンの信号を受信する部分です。
○ MENUスイッチ	メニューを表示します。
▽△(音量) スイッチ	メニュー表示時：メニュー項目の選択に使います。 メニュー非表示時：音量の上げ下げを行います。
◀(HDMI入力切換) スイッチ	メニュー表示時：メニュー項目の選択に使います。 メニュー非表示時：HDMI-1/HDMI-2の入力切換を行います。
▶(VIDEO入力切換) スイッチ	メニュー表示時：メニュー項目の選択に使います。 メニュー非表示時：D端子/ビデオの入力切換を行います。
□ (PC入力切換) スイッチ	メニュー表示時：メニュー項目の選択に使います。 メニュー非表示時：PC-デジタル/PC-アナログの入力切換を行います。 長押しすると自動調整をします。(PC-アナログ入力時)
電源ランプ	電源が入ると緑色に点灯します。待機時、省電力モード時は赤色になります。

■本体 背面



	名称		機能
①	AC-INコネクタ		添付の電源ケーブルを接続します。
②	台座		別途固定金具を取り付けるときは取り外すことができます。
③	盗難防止用ホール		必要に応じて市販のセキュリティケーブルを接続します。
④	ケーブルホルダー		ケーブル類をまとめるために利用します。 取り付け方は、【ケーブルホルダーを取り付ける】(29ページ)を参照
⑤	HDMI (1, 2)		映像機器(ゲーム機、HDDレコーダーなど)のHDMI端子と接続します。
⑥	PC-デジタル	DVI-D	パソコンのデジタル(DVI)出力コネクタと接続します。
		音声	パソコンのオーディオ出力端子と接続します。
⑦	PC-アナログ	D-SUB	パソコンのRGB出力コネクタと接続します。
		音声	パソコンのオーディオ出力端子と接続します。
⑧	D5	D5映像	映像機器(ゲーム機、DVDプレーヤーなど)のD端子と接続します。
		音声(左右)	映像機器(ゲーム機、DVDプレーヤーなど)のオーディオ出力端子と接続します。
⑨	ビデオ	映像(Sビデオ/ビデオ)	映像機器(ゲーム機、DVDプレーヤーなど)のビデオ出力端子またはSビデオ出力端子と接続します。
		音声(左右)	映像機器(ゲーム機、DVDプレーヤーなど)のオーディオ出力端子と接続します。
⑩	USB アップストリーム (1ポート)		USBケーブル(添付)でパソコンのUSBコネクタと接続します。
⑪	USB ダウンストリーム (3ポート)		USB対応周辺機器(マウス、キーボードなど)と接続します。

■リモコン



名称		機能
発光部		リモコンの信号が出る部分です。(カバーはありません。)
消音ボタン		音声をミュートします。 再度ボタンを押すと元の音量に戻ります。
電源ボタン		電源のオン/オフを行います。オンになると本体前面のLEDランプが緑色に点灯します。
入力切換	HDMI入力ボタン	HDMI-1→HDMI-2→HDMI-1…の順に入力を切り換えます。
	ビデオ入力ボタン	D 端子→ビデオ→D 端子…の順に入力を切り換えます。
	PC入力ボタン	PC デジタル→PC アナログ→PC デジタル…の順に入力を切り換えます。
メニュー/キャンセルボタン		「設定/調整メニュー」を表示します。 再度ボタンを押すと「設定/調整メニュー」を終了します。
上下(音量)ボタン +▲ -▼		音量の上げ下げを行います。 「設定/調整メニュー」の操作に使用します。
決定ボタン		「設定/調整メニュー」において選択した項目を実行します。
左右ボタン ◀ ▶		「設定/調整メニュー」において設定値の変更を使用します。
画面	モードボタン	画面モードを変更します。
	サイズボタン	「アスペクト比」を変更します。
子画面	オン/オフボタン	子画面表示のオン/オフを切り換えます。
	位置ボタン	子画面の位置を変更します。
	サイズボタン	子画面のサイズを選択します。
	音声入換ボタン	親画面と子画面の音声を入れ換えます。
	入力切換ボタン	子画面に表示する映像を切り換えます。

memo

準備をする

本製品を使用するための準備や接続方法について説明します。

接続する	24
パソコンを接続する.....	24
他の機器を接続する.....	26
USB機器を接続する.....	30
アームを取り付ける.....	32
リモコンの操作について	34
電池の入れ方.....	34
リモコンの操作.....	34
パソコンで使う	35
便利な使い方	36

接続する

■パソコンを接続する

1 ACケーブルを背面のAC-INコネクタに接続します。

ACケーブルは必ず添付のものをご使用ください。

2 本製品背面に、用途にあった接続ケーブルを接続します。

各接続ケーブルは必ず添付のものを使用し、接続ケーブルのコネクタは左右のネジできちんと締めてください。

アナログ接続
の場合

アナログ接続ケーブルを本製品のPC-アナログに接続します。

デジタル接続
の場合

デジタル接続ケーブルを本製品のPC-デジタルに接続します。

ご注意

PC-9800シリーズおよびApple Macintoshシリーズでアナログ接続ケーブルをお使いになる際には、別途市販の変換アダプターが必要になる場合があります。

参考

アナログ接続とデジタル接続を同時に行うこともできます。例えば、パソコンが2台あり、一方がデジタル出力、もう一方がアナログ出力なら、両方を本製品に接続し、本体の[PC]ボタンまたはリモコンの[PC]ボタンを押すことにより、切り換えて表示することができます。

3 接続ケーブルのもう一方をパソコンに接続します。

パソコンの出力コネクタ位置は、パソコンの取扱説明書でご確認ください。

アナログ接続
の場合

パソコンのアナログRGB出力コネクタに接続します。

デジタル接続
の場合

パソコンのデジタルディスプレイ出力コネクタに接続します。

4 本製品のPC入力音声コネクタに、添付のオーディオケーブルを接続します。

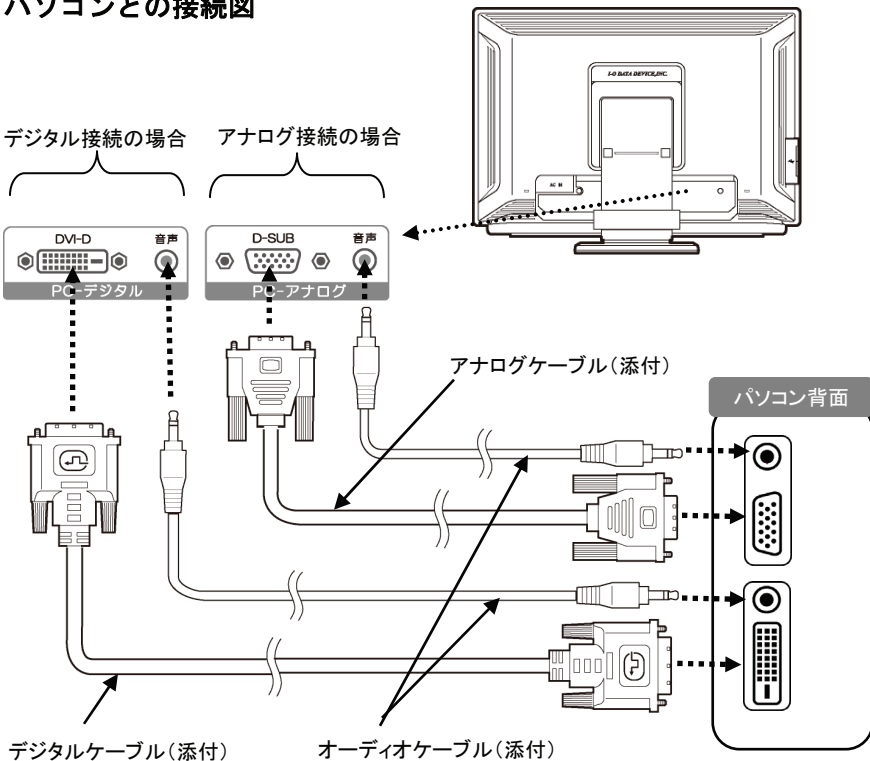
パソコンを接続した際に、本製品のスピーカーをご使用にならない場合は接続する必要はありません。

5 オーディオケーブルのもう一方の端子をパソコンのオーディオ出力端子に接続します。

6 ACケーブルをコンセントに接続します。

以上でパソコンへの接続は終了です。

パソコンとの接続図

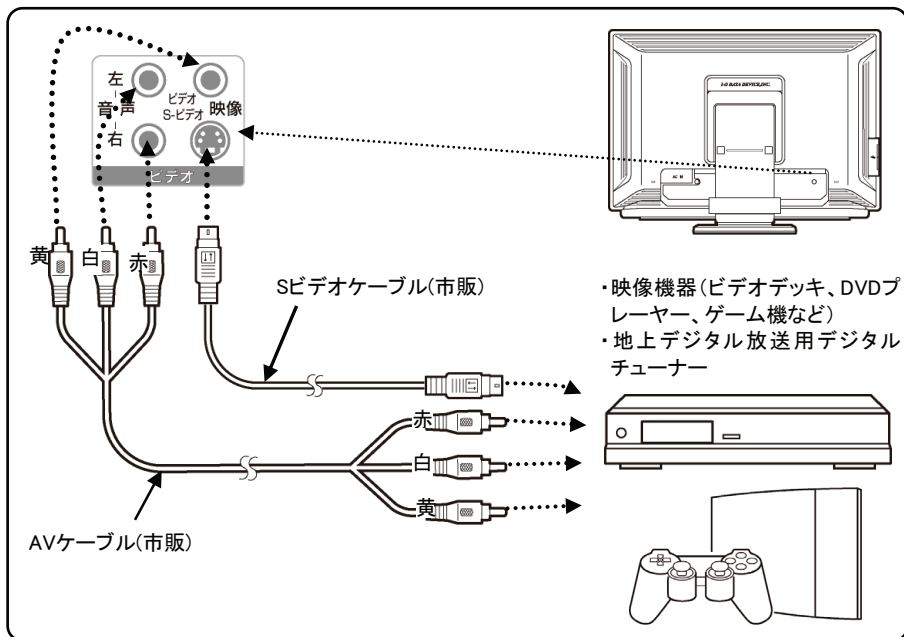


接続する

■他の機器を接続する

本製品にビデオデッキ、DVDプレーヤーやゲーム機などの映像機器や地上デジタルテレビ放送用デジタルチューナーを取り付けて、DVDやゲーム、地上デジタルテレビ放送を楽しむことができます。

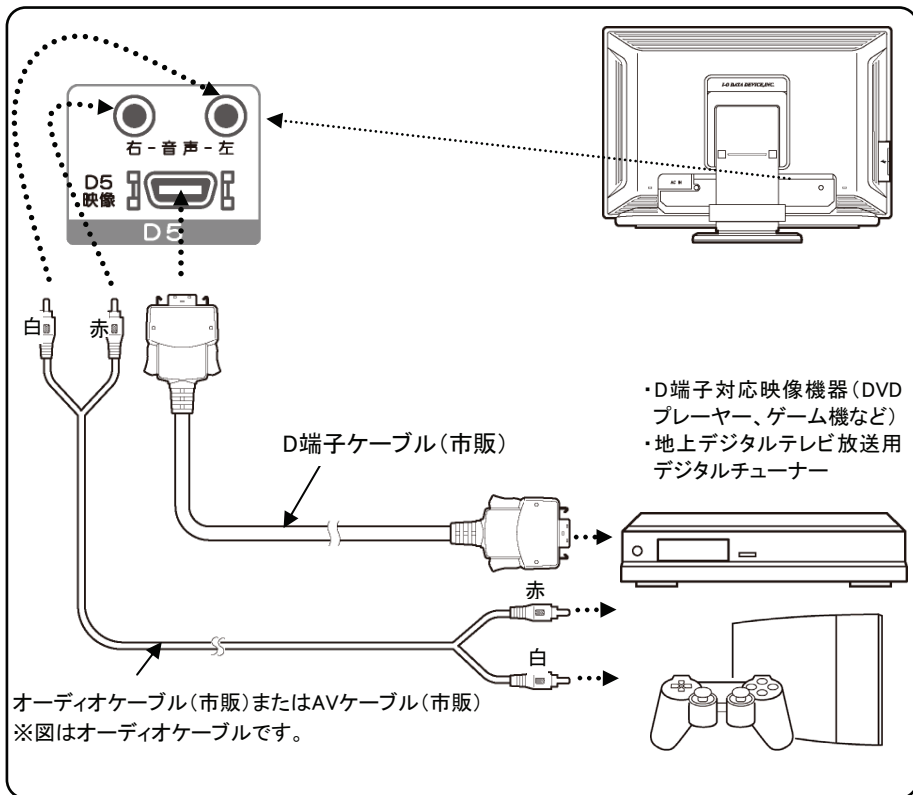
●AVケーブルまたはSビデオケーブルで接続する場合



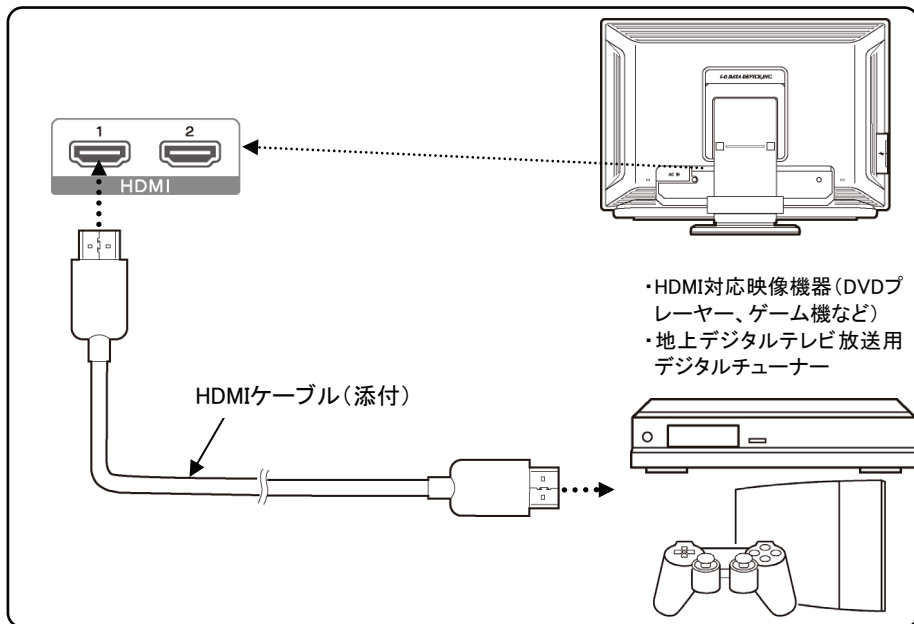
参考

- 他の機器との接続方法については、ご使用になる機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。
- 映像機器にS映像出力コネクターがある場合は、本製品のS映像入力端子との接続をおすすめします。
Sビデオ信号は輝度と彩度の信号が分かれているため、ビデオ信号よりも歪みが少なく、鮮明な画像が得られます。
- SビデオケーブルとAVケーブルの両方を接続した場合、[S映像]が優先されます。
- ビデオデッキにて劣化しているビデオテープを再生した場合、鮮明な映像が得られない場合があります。

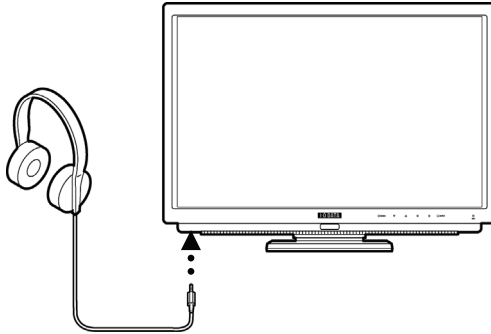
●D端子ケーブルで接続する場合



●HDMIケーブルで接続する場合



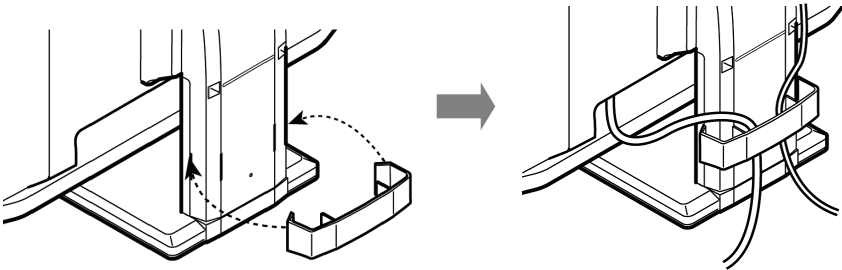
●ヘッドホンを接続する



注意

- ヘッドホンを耳に付けたまま接続しないでください。音量によっては耳をいためる原因となります。
- ヘッドホンをご使用の際は、音量を上げすぎないようにご注意ください。大音量で長時間続けて聞くと聴力に悪影響を与える原因となります。

●ケーブルホルダーを取り付ける



注意

ケーブルホルダーの取り付け/取り外しの注意

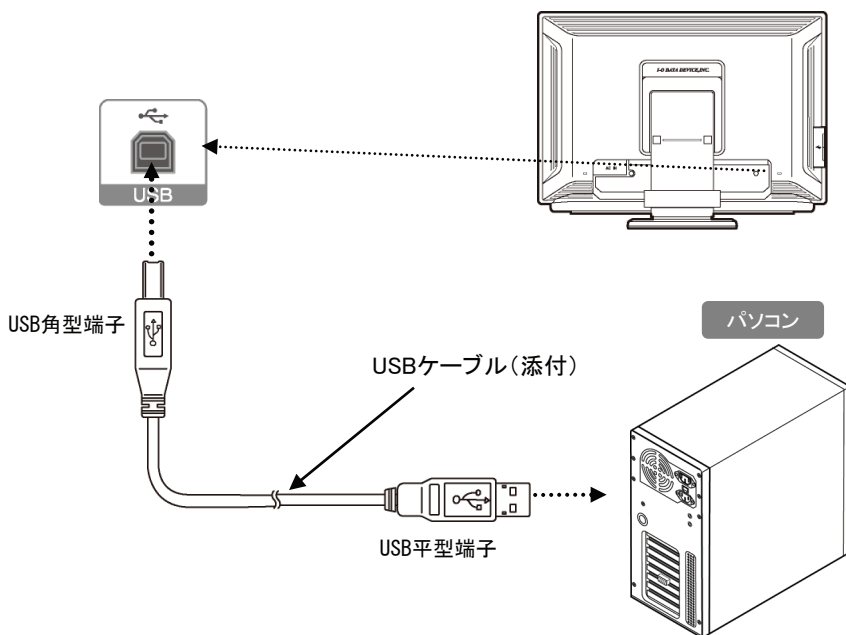
- 取り付け/取り外しは必ず両手で行ってください。
- 特に取り付けの際は、ケーブルホルダーに指をはさまないように注意してください。けがの原因となることがあります。
- ケーブル類は、長さに余裕を持たせて、若干たるむ程度でまとめてください。画面の向きを変えたときに、ケーブル類が引っ張られると、外れたり断線や故障の原因となることがあります。

接続する

■USB機器を接続する

本製品側面のUSBコネクタにUSB機器を接続することができます。

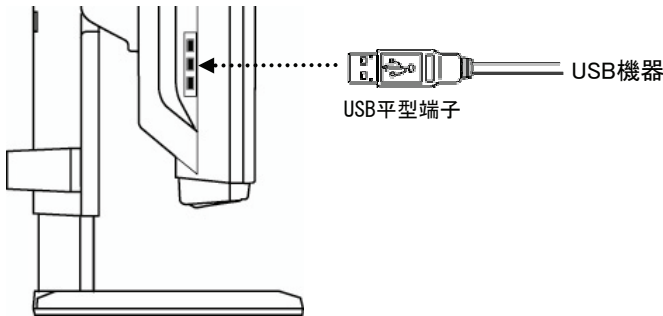
- 1 パソコンのUSB端子と本製品のUSB端子を添付のUSBケーブルで接続します。



ご注意

USBケーブルのコネクタ形状や向きを確認してから接続してください。

2 本製品側面のUSBコネクタにUSB対応周辺機器を接続します。



ご注意

- ・本製品の電源を切ったり、お使いのパソコンをシャットダウンする際は、接続したUSB機器を停止・取り外してから行ってください。接続したまま本製品の電源を切ると、USB機器の故障の原因となります。
- ・お使いのパソコンや接続するUSB機器によっては、動作しない場合もあります。その際はUSB機器の取扱説明書をよく確認し、各機器のメーカーにお問い合わせください。
- ・本製品のUSBポートがパソコンに認識されるまで数秒程度の時間がかかる場合があります。認識される前にUSB機器およびケーブルを引き抜いたり瞬間的な抜き差しを繰り返さないでください。USBメモリーなどの記憶装置を接続している場合、データの消失、破損の原因となります。

■アームを取り付ける

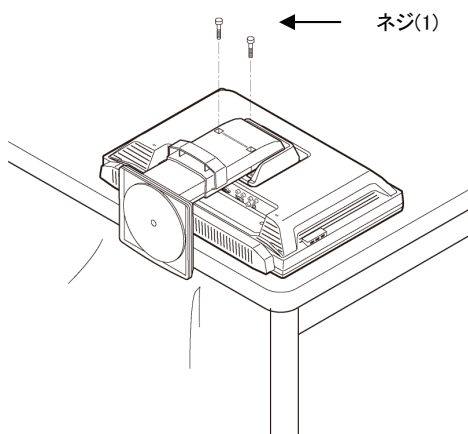
台座金具を取り外して、VESA規格に準拠したアームなどの固定器具を取り付けることができます。アームや、アーム取り付け用のネジは、あらかじめご用意ください。



注意

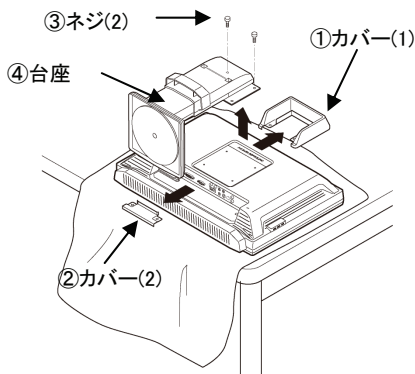
- 作業中は、液晶ディスプレイを床などに落としたり、パネルを傷つけたりしないよう十分ご注意ください。
- 作業の際は、下にやわらかい布などを敷いて、パネルに傷がつかないようにしてください。
- 電源を切り、すべてのケーブルを外した状態で作業を行ってください。
- ご用意いただいた固定器具の取扱説明書もご覧ください。

1 背面のネジ(1)を取り外します。



2 台座を外します。

- ①カバー(1)を上にはずして取り外します。
- ②カバー(2)を下にはずして取り外します。
- ③台座を固定しているネジ(2)を取り外します。
- ④台座を取り外します。

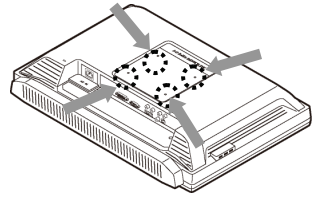


ご注意

外したネジ、台座金具は大切に保管してください。

3 用意した固定器具を取り付けます。

右図の4箇所のネジ穴を利用して、ご用意いただいたVESAアームなどの固定器具を取り付けてください。



- 固定用のネジは、「M4×10」のものをご用意ください。
- VESAアームなどの固定金具は8.3Kgの質量に耐えられる100mmピッチのものを
ご用意ください。

以上でアームの取り付けは終了です。

リモコンの操作について

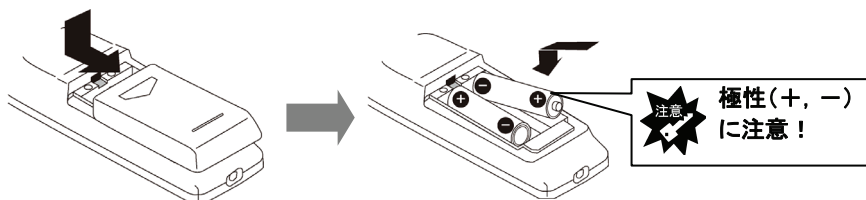
●電池の入れ方

ご購入時は、添付のリモコン用乾電池を入れて動作を確認してください。

1 電池カバーを取り外します。

裏面電池カバーを押しながらスライドさせます。

2 単3乾電池を2個入れて、電池カバーを閉じます。



注意

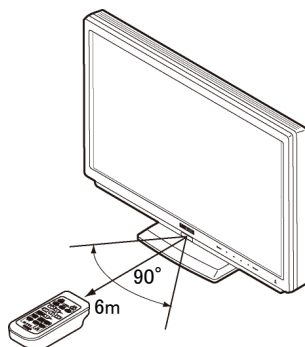
- 添付のリモコン用乾電池は動作確認用のものです。ご使用の際は新しい乾電池（単3）2個を別途ご用意ください。
- 以下のことにご注意ください。
 - ・ 極性（+，-）を逆にしない
 - ・ 指定された乾電池（単3乾電池）以外を使用しない
 - ・ 交換の際は、必ず電池を2本とも交換するリモコンの動作不良および故障の原因となります。また、【必ずお読みください】の注意事項もご覧ください。

●リモコンの操作

リモコンを操作する場合は、右図のようにリモコン受光部に向けて操作します。操作できる範囲は、受光部から約6m、約90°以内です。

ご注意

リモコン受光部とリモコンの間に、障害物を置かないでください。



パソコンで使う

本製品の接続が完了したら、パソコンおよび本製品の電源を入れます。

■Windows Vista®/XP/2000、Macintoshをお使いの場合

パソコン本体に本製品を接続するだけで使用できます。

■Windows Me/98をお使いの場合

1 Windowsを起動します。

→「新しいハードウェアの追加ウィザード」の画面が表示されます。

2 [次へ]ボタンをクリックします。

3 [完了]ボタンをクリックします。

※お使いのパソコンのグラフィックカードによって設定方法が異なる場合があります。

以上で本製品が使用できます。



参考

本製品前面のボタンによる画質の設定/調整については、添付のCD-ROM内の「画面で見るマニュアル」をご参照ください。

便利な使い方

本製品に添付されている「Display Manager」を使えば、マウス操作だけでディスプレイの画質設定ができます。

※「Display Manager」は添付の「LCDシリーズサポートソフト」(CD-ROM)に入っています。

対応OS : Windows Vista®/XP/2000

ご注意

「Display Manager」をご利用いただくには、パソコンのグラフィックチップが「Display Manager」に対応している必要があります。必ず弊社ホームページにて対応環境をご確認ください。
※未対応の環境には、「Display Manager」をインストールしないでください。



参考

「Display Manager」をお使いにならない場合、サポートソフトをインストールする必要はありません。「Display Manager」をインストールしなくても、本製品は問題なくお使いいただけます。

■ 「LCDシリーズサポートソフト」(CD-ROM) のインストール

1 Windowsを起動します。

2 「LCDシリーズサポートソフト」(CD-ROM) をCD-ROMドライブにセットします。

自動的にオートランメニューが表示されます。



参考

自動的にオートランメニューが表示されない場合は、「LCDシリーズサポートソフト」(CD-ROM) 中にある、ディスプレイ型の [AUTORUN] アイコンをダブルクリックしてください。

3 [インストール/アンインストール] をクリックします。

4 これ以降、画面のメッセージにしたがってインストールしてください。

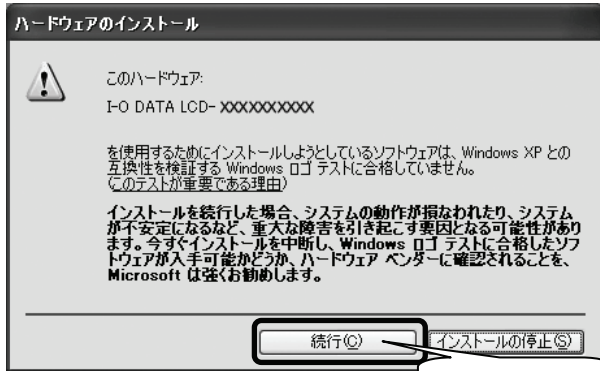


以下のような画面が表示されたときには

[続行] (または [はい]) ボタンをクリックします。

→インストールが続行されます。

▼Windows XPの画面例



弊社製ソフトウェアが認識された時点で、マイクロソフトが認証するソフトウェアではないという旨のメッセージが表示されますが、特に問題ありませんのでそのまま続行します。

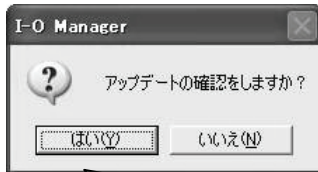
⇒マイクロソフト社はWHQLという組織においてパソコン本体や周辺機器などを対象に認定手続きを実施しております。本製品は、現時点では認定を受けておりませんが、問題なくご使用いただけます。

また、Windows Vista®の場合、インストール時に「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示されますので、ユーザーレベルが低い場合、管理者パスワードを入力し、「続行」を選択してください。



●自動アップデートについて

「Display Manager」を起動すると、「I-O Manager アップデート確認」の画面が表示される場合がありますので、任意のボタンをクリックします。



[はい] ボタンをクリックすると、インターネットに接続し、アップデート情報を検索します。
※インターネットへの接続環境が必要です。

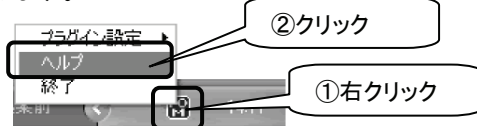
「I-O Manager」とは？

「Display Manager」の最新バージョンやサポートソフトのバージョンアップ情報を管理するプログラムです

自動アップデートの設定、および「I-O Manager」の使い方については、「I-O Manager」のヘルプをご覧ください。

I-O Managerのヘルプの参照方法

タスクトレイの「I-O Manager」アイコンを右クリックし、[ヘルプ]をクリックします。



●ファイアウォール機能が有効になっている場合

セキュリティソフトやOSのファイアウォール機能が有効となっている場合、「Display Manager」の通信が遮断され、自動アップデートを含む一部機能が正常に動作しません。この場合、セキュリティソフトやOSのファイアウォール設定を変更して、「Display Manager」の通信を可能にする必要があります。

(ファイアウォールの設定については、お使いのセキュリティソフト、またはOSの取扱説明書をご覧ください。)

●「Display Manager」の使用方法

使用方法については、「Display Manager」ヘルプをご覧ください。

[スタート]→[プログラム(すべてのプログラム)]→[I-O DATAディスプレイマネージャー2V]→[ディスプレイマネージャー2V]を実行します。

以上でサポートソフトのインストールは終了です。

操作について

本製品でビデオを視聴する方法を説明します。

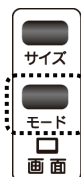
画面操作について.....	40
アスペクト比について.....	41
子画面機能の使い方.....	42
子画面を表示/非表示する.....	42
子画面の表示位置の変更.....	42
子画面サイズの変更.....	43
スピーカーに出力する音声を切り換える.....	43
子画面に表示する入力ソースを切り換える.....	44

画面操作について

画面のモードやサイズの設定方法について説明します。
子画面については、【子画面機能の使い方】（42ページ）を参照してください。

■画面モードを切り換える

リモコンの画面・[モード]ボタンを押します。
[標準]→[映画]→[CG]→[写真]→[文字]→[DTP]→[標準]…の順に切り換わります。



■画面サイズを切り換える

リモコンの画面・[サイズ]ボタンを押します。
[リアル]→[スマートズーム]→[ズーム]→[パノラマ
(PC入力時はDx2D)]→[リアル]…の順に切り換わ
ります。



アスペクト比について

アスペクト比とは、画面や画像の縦と横の長さ（ピクセル数）の比のことです。

本製品の画面表示エリアのアスペクト比は 16 : 10 です。

ビデオ映像は 4 : 3、地上デジタル、ハイビジョン放送は 16 : 9 ですのでアスペクト比が異なります。

それぞれお好みのサイズに設定してください。

※お使いの機器の入力ソースのアスペクト比については、各取扱説明書をご確認ください。

アスペクト比	4 : 3 映像	16 : 9 映像
リアル 入力信号の解像度をそのまま画面中央に表示します。 (リアルサイズ表示)		
スマートズーム アスペクト比を維持したまま、入力信号を 1600x1200 又は 1920x1080 に拡大表示します。		
ズーム 入力信号を 1920x1080 に拡大表示します。		
パノラマ 画面両端を引き伸ばして 1920x1200 に拡大表示します。 ※16:9 映像入力時は「ズーム」と同様		

※PC-アナログ、PC-デジタル入力時のアスペクト比については、「画面で見るマニュアル」を参照してください。

子画面機能の使い方

パソコン画面を表示しているときに、ビデオなど他の入力ソースの映像を子画面で表示することができます。

以下に、リモコンでの操作方法について説明します。



本体側のスイッチで行うときは

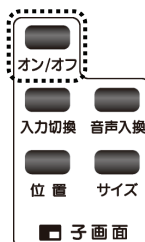
設定/調整メニュー（メニュー）の「子画面設定」画面で行います。

- ①[MENU]スイッチを押してメニューを表示します。
- ②[子画面]を選択し、[MENU]スイッチを押します。
→「子画面設定」画面が表示されます。

詳しい操作方法は、「画面で見るマニュアル」を参照してください。

■子画面を表示/非表示する

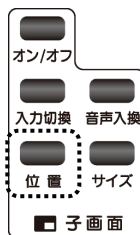
リモコンの子画面・[オン/オフ]ボタンを押します。



■子画面の表示位置の変更

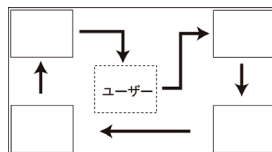
子画面の表示位置を変更できます。

- 1 子画面を表示している状態で、リモコンの子画面・[位置]ボタンを押します。



- 2 [位置]ボタンを押すごとに表示位置が変わります。

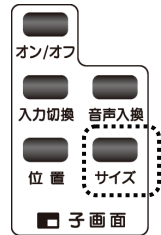
右上→右下→左下→左上→ユーザー→右上→...



■子画面サイズの変更

子画面のサイズを変更できます。

- 1 子画面を表示している状態で、リモコンの子画面・[サイズ]ボタンを押します。



- 2 [サイズ]ボタンを押すごとに表示サイズ小→中→大→ユーザー→小・・・と変わります。

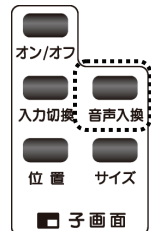


子画面サイズ

入力信号	大	中	小
16:10映像(ワイド映像)	720×450	480×300	320×200
16:9映像(ワイド映像)	720×405	480×270	320×180
4:3映像	720×540	480×360	320×240
5:4映像	720×576	480×384	320×256

■スピーカーに出力する音声を切り換える

リモコンの子画面・[音声入換]ボタンを押します。
→スピーカーに出力する音声の子画面の音声と親画面の音声が入れ換わります。



■子画面に表示する入力ソースを切り換える

リモコンの子画面・[入力切換]ボタンを押します。

→子画面に表示する入力ソースが

[PC-デジタル(アナログ)]→[HDMI-1]→[HDMI-2]→

[D映像]→[ビデオ]→[PC-デジタル(アナログ)]→・・・

の順に切り換わります。



本製品で子画面が表示可能な組み合わせは以下の通りです。

親画面	子画面
「PC-デジタル」	「PC-アナログ」、「HDMI-1」、「HDMI-2」、 「D映像」、「ビデオ」
「PC-アナログ」	「PC-デジタル」、「HDMI-1」、「HDMI-2」、 「D映像」、「ビデオ」

設定/調整をする

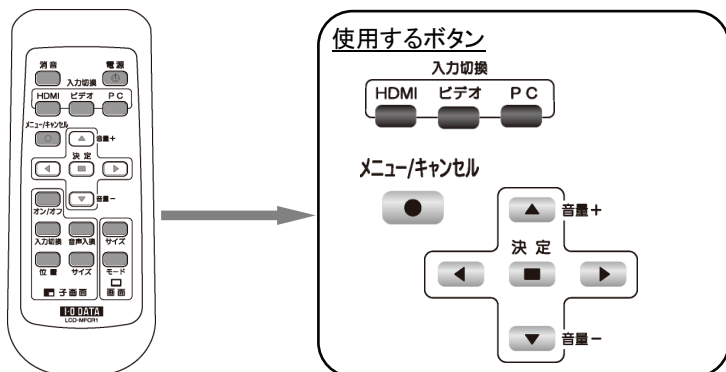
本製品の画面の設定/調整方法について説明します。

設定/調整方法（基本操作）	46
設定/調整方法	48
子画面設定	48
映像設定（HDMI、D映像、ビデオ）	50
音声設定	52
その他設定	53

設定/調整方法（基本操作）

画面に表示される「設定/調整メニュー」（以下、「メニュー」と呼びます。）でさまざまな調整や設定ができます。操作はリモコンまたは本体のボタンで行います。

■リモコンで設定/調整する場合




ボタン名称	機能
HDMI	HDMI-1→HDMI-2→HDMI-1…の順に入力を切り換えます。
ビデオ	D端子→ビデオ→D端子…の順に入力を切り換えます。
PC	PC-デジタル→PC-アナログ→PC-デジタル…の順に入力を切り換えます。
上下 (音量一十)	メニュー画面表示時：メニュー項目の選択に使います。 メニュー非表示時：音量の上げ下げを行います。
左右	メニュー画面表示時：選択したメニュー項目の調整に使います。
決定	<ul style="list-style-type: none"> メニュー項目を選択します。 調整ウィンドウの「戻る」メニューを選択します。
メニュー/ キャンセル	メニューを表示、終了します。

■本体のスイッチで設定/調節する場合




スイッチ名称	機能
○MENU スイッチ	<ul style="list-style-type: none"> ・メニューを表示します。 ・戻るメニューを決定します。 ・長押し（約3秒）でメニューロック/ロック解除できます。（メニュー非表示時）
▽ △（音量） スイッチ	メニュー画面表示時：メニュー項目の選択に使用します。 メニュー非表示時：音量の上げ下げを行います。
◀（HDMI 入力切換） スイッチ	メニュー画面表示時：メニュー項目の調整に使用します。 メニュー非表示時：HDMI-1/HDMI-2の入力切換を行います。
▶（VIDEO 入力切換） スイッチ	メニュー表示時：メニュー項目の調整に使用します。 メニュー非表示時：D端子/ビデオの入力切換を行います。
□（PC 入力切換） スイッチ	メニュー表示時：メニュー項目の選択に使用します。 メニュー非表示時：PC-デジタル/PC-アナログの入力切換を行います。 長押しすると自動調整をします。（PC-アナログ入力時）

■設定/調整メニューを表示するには

リモコン	<small>メニュー/キャンセル</small>  （メニュー/キャンセル）ボタンを押します。
本体の スイッチ	[○MENU]スイッチを押します。

■設定/調整メニューを終了するには



リモコン	<small>メニュー/キャンセル</small>  （メニュー/キャンセル）ボタンを押します。
本体の スイッチ	[□PC]スイッチを押します。

設定/調整方法

■ 子画面設定

※入力ソースが「PC-デジタル」「PC-アナログ」の場合のみ子画面表示が可能です。



項目	説明
表示	子画面の表示のオン/オフをします。 オンにすると子画面を表示します。
ソース ^{※1}	子画面の入力ソースを選択します。 (PC-デジタル、PC-アナログ、HDMI-1、HDMI-2、D映像、ビデオ)
サイズ ^{※1}	子画面のサイズを指定します。 ※ () はディスプレイマネージャーで変更したサイズを利用します。
位置 ^{※1}	子画面の位置を指定します。 ※ () はディスプレイマネージャーで変更した位置を利用します。
透過 ^{※1}	子画面表示の透過度合いを設定します。
出力音声 ^{※1}	スピーカーからの音声を子画面または親画面に設定します。
戻る	メニューに戻ります。

※1 子画面表示がオフのときは表示されません。

■映像設定（HDMI、D映像、ビデオ）



項目	説明
画面モード	使用用途に合わせた画面モードを選択すると、あらかじめ設定された最適な画質に設定します。 各モード時の[輝度][コントラスト][明るさ][色合い][色の濃さ][シャープネス]はそれぞれ設定を変更して保存することもできます。 [標準]：標準の画面設定、[映画]：DVD、ビデオ鑑賞用、[CG]：ゲーム・アニメーション用
Eco モード	Eco モードを有効にすると、電力消費量を低減できます。
輝度	画面の輝度（明るさ）を調整します。
コントラスト	画面のコントラストを調整します。
明るさ	画面の色の明るさを調整します。
色合い	画面の色の赤みを調整します。
色の濃さ	画面の色の濃さを調整します。
シャープネス	映像の輪郭を調整します。
アスペクト比	[リアル][スマートズーム][ズーム][パノラマ]を選択します。 リモコンの[サイズ]ボタンでも操作できます。 【アスペクト比について】（41ページ）を参照

項目	説明		
ゲームモード ※1	高画質化処理を制限することで、ディスプレイ内部の映像信号の遅延時間を短縮することができます。		
ACC	ACC（アドバンスド・コントラスト・コントロール）機能を有効にすると、自動的にコントラストを調整し、黒つぶれや白とびを防ぎます。		
ノイズ除去	ノイズ除去機能を有効にすると、画像のノイズや輪郭のザラつきを抑制できます。		
色相	6色を独立に調整することができます。 特定の色のみを強調したい場合に有効な調整機能です。	赤	赤を調整します。 左：マゼンタに近い色に調整します。 右：イエローに近い色に調整します。
		イエロー	イエローを調整します。 左：赤に近い色に調整します。 右：緑に近い色に調整します。
		緑	緑を調整します。 左：イエローに近い色に調整します。 右：シアンに近い色に調整します。
		シアン	シアンを調整します。 左：緑に近い色に調整します。 右：青に近い色に調整します。
		青	青を調整します。 左：シアンに近い色に調整します。 右：マゼンタに近い色に調整します。
		マゼンタ	マゼンタを調整します。 左：青に近い色に調整します。 右：赤に近い色に調整します。
	戻る	映像設定に戻ります。	
3次元 Y/C※2	3次元 Y/C 分離機能を有効にすると、映像を輝度信号と色信号に高精度に分離し、映像の細部まで鮮明に表示することができます。 オフ/固定/自動から選択することができます。		
戻る	メニューに戻ります。		

※1 「ゲームモード」機能オン時は、「ノイズ除去」「3次元 Y/C」「ブロックノイズ除去」機能は強制的にオフになります。

※2 ビデオ入力時のみの機能となります。

■音声設定



項目	説明
高音	高音域を調整します。
低音	低音域を調整します。
左右バランス	音声の左右バランスを調整します。
操作音	本体のスイッチを操作した際に出す音を設定します。
戻る	メニューに戻ります。

■ その他設定



項目	説明
無信号検出	設定した時間（単位：分）信号入力がない場合、本製品の電源を切るように設定することができます。 0に設定すると、機能は無効になります。
ブロックノイズ除去	MPEGなどの圧縮された動画再生時に発生するブロックノイズを補正することができます。
画面表示	画面表示のオン/オフを設定します。 オンに設定すると、常時、入力ソース名や入力信号に関する情報を表示します。
言語	メニュー画面の言語を[日本語]または[英語]に設定します。
メニュー位置	メニュー画面の表示位置を指定します。
メニュー表示時間	メニューの表示時間を設定します。
メニュー透過	メニュー画面の背景の透過度合いを変更します。
ボーダー色	画面の非表示エリア部分を黒→白に段階的に変更します。
ブルースクリーン	オンにすると、信号入力がない時やVTRの無録画部分再生時などに画面を青くします。
オールリセット	設定値を工場出荷時状態に戻します。 [言語]で調整した内容はリセットされません。
オーバースキャン	入力信号に対する表示領域を変更します。 ※映像の端にノイズが見える場合、この設定を変更することにより、表示させなくすることができます。
戻る	メニューに戻ります。

memo

困ったときには

本製品を使用していてトラブルがあった場合にご覧ください。

弊社ホームページをご覧ください

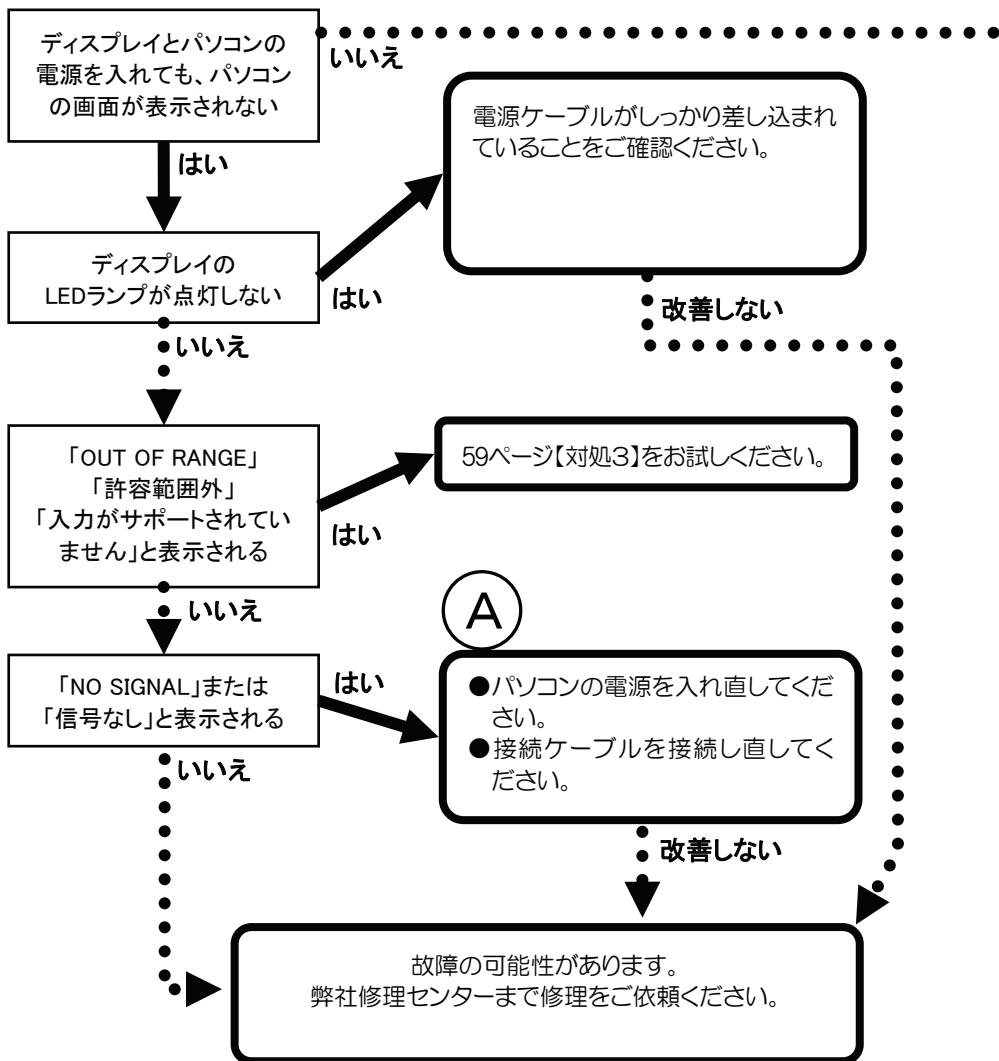
サポートWebページ内には、過去にサポートセンターに寄せられた事例なども紹介されています。こちらをご参考ください。

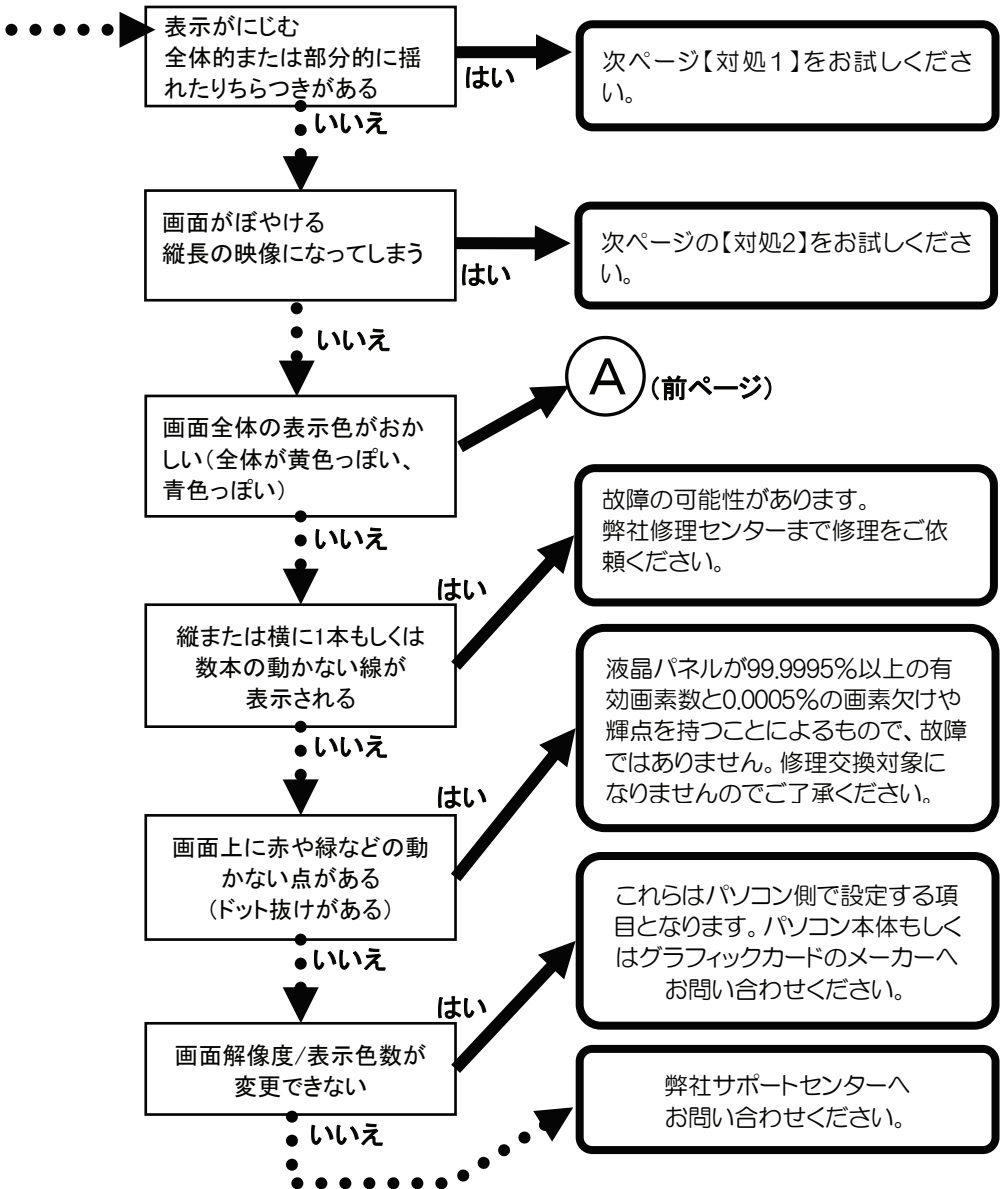
<http://www.iodata.jp/support/>

製品 Q & A
News その他

チャートで対処法をチェック！	56
Q & Aで対処法をチェック！	60
液晶ディスプレイのスピーカーから音がでない	60
サポートソフトのインストール時・インストール後の OS起動時にエラーメッセージが表示される	60
画面が表示されない、または、画面の表示状態が異常である	60
リモコンが反応しない	60

チャートで対処法をチェック！





対処 1

■ [PC] ボタンを押して（長押し）自動調整を行なってみてください。

それでも改善されないようであれば、調整/設定メニューから「LCD調整」を行ってください。（「画面で見るマニュアル」参照）

■ OS毎のリフレッシュレートを60Hzにしてみてください。

リフレッシュレートの設定を「60 Hz」に変更することにより改善される場合があります。

①Windows Vista® の場合

[個人設定] → [画面の設定] → [詳細設定] ボタン → [モニタ] タブ → [画面のリフレッシュレート]

②Windows XP の場合

[画面のプロパティ] → [設定] タブ → [詳細設定] ボタン → [モニタ] タブ → [画面のリフレッシュレート]

③Windows 2000 の場合

[画面のプロパティ] → [設定] タブ → [詳細] ボタン → [モニタ] タブ → [リフレッシュレート]

④Windows Me/98 の場合

[画面のプロパティ] → [設定] タブ → [詳細] ボタン → [アダプタ] タブ → [リフレッシュレート]

対処 2

■ 「画面全体がぼやける」「縦長の映像になってしまう」という場合は、パソコンで設定されている解像度が本製品に最適な解像度になっていない場合があります。パソコンの解像度を本製品の最大表示解像度に設定してください。（「画面で見るマニュアル」【ハードウェア仕様】）参照

■ 画面サイズを変更してみてください。

（40ページ参照）

対処 3

本製品の仕様外の解像度やリフレッシュレート(垂直周波数)を設定されたためと思われます。以下の方法にて設定を変更してください。

1. Windows 起動ロゴが表示される前あたりで、キーボードの[F8]キーを断続的に何回か押します。キーを押したままにしないでください。

2. Windows Vista®/XP/2000 の場合

[VGA モードを有効にする] (Windows Vista®では、[低解像度ビデオ (640×480) を有効にする]) を選択し、[ENTER] キーを押します。
⇒Windows が起動します。

Windows Me/98 の場合

- ①[3. Safe Mode] を選択し、[Enter] キーを押します。
⇒Windows が起動します。

- ②デスクトップ (壁紙) 部分で右クリックし、[プロパティ] をクリックします。

[画面のプロパティ] が起動しますので、[設定] タブをクリックし、解像度を [640×480] もしくは [800×600] に指定し、[OK] ボタンをクリックします。

変更できない状態であれば、そのまま[OK] ボタンをクリックします。

- ③Windows を再起動します。

3. ①デスクトップ (壁紙) 部分で右クリックし、[プロパティ] (Windows Vista®では[個人設定]) をクリックします。

- ②[設定] タブ (Windows Vista®では[画面の設定]) をクリックし、本製品が対応している解像度内にて、改めて解像度を設定します。設定後、[適用] ボタンをクリックし、[OK] ボタンをクリックします。

対応外の解像度が選択された場合でも、[ESC] キーを押せば元の解像度に復帰できます。

- ③Windows Vista®/XP/2000 の場合は、Windows を再起動します。

Q & A に対処法をチェック！

液晶ディスプレイのスピーカーから音がでない

原因 1 液晶ディスプレイとパソコンが正しくオーディオケーブルで接続されていない。

対処 正しく接続されていることをご確認ください。(25ページ参照)

原因 2 音量が小さい。

対処 本体側またはリモコンで音量を上げてください。
(46ページ、47ページ参照)

原因 3 本体のヘッドホン端子にヘッドホンやスピーカーを接続している。

対処 ヘッドホンやスピーカーを取り外してください。

原因 4 パソコン側の音声出力がミュートになっている。

対処 パソコン側の音声出力をご確認ください。

原因 5 本体のスピーカー出力がオフになっている。

対処 リモコンの「消音ボタン」でミュートを解除してください。

サポートソフトのインストール時・インストール後のOS起動時にエラーメッセージが表示される

対処 サポートソフトを再インストールしてみてください。再インストールしても同様な現象が起こる場合は、お使いの環境が「Display Manager」に対応していない可能性があります。弊社ホームページにて動作環境をご確認ください。

画面が表示されない

または、画面の表示状態が異常である

対処 56ページの【フローチャート】にしたがってチェックしてください。

リモコンが反応しない

原因 1 リモコンに電池が入っていない。

対処 電池が入っていることをご確認ください。(34ページ参照)

原因 2 電池が消耗している。

対処 新しい電池と交換してください。(34ページ参照)

原因 3 リモコンを本製品の赤外線受光部に向けていない、もしくは赤外線受光部から6メートル以上離れている。

対処 リモコンを本製品の赤外線受光部に向け、6メートル以内で使用してください。(34ページ参照)

ふろく

お問い合わせ..... 62

修理について..... 63

お問い合わせ

本製品に関するお問い合わせは弊社サポートセンターで受け付けています。

1 まず、弊社ホームページをご確認ください。

【困ったときには】で解決できない場合は、サポート Web ページ内の「製品 Q&A、News」などをご覧ください。過去にサポートセンターに寄せられた事例なども紹介されています。こちらも参考にさせていただきます。

<http://www.iodata.jp/support/>

製品Q&A、
Newsなど

2 それでも解決できない場合は下記へお問い合わせください。



■お問い合わせ窓口

住所：〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
アイ・オー・データ第2ビル
株式会社 アイ・オー・データ機器 サポートセンター



電話：本社 076-260-3633 東京 03-3254-1092
FAX：本社 076-260-3360 東京 03-3254-9055

※受付時間 9：00～17：00 月～金曜日(祝祭日を除く)



インターネット：<http://www.iodata.jp/support/>

お知らせいただく事項について

1. ご使用の弊社製品名。
2. ご使用のパソコン本体と周辺機器の型番。
3. ご使用のOS。
4. トラブルが起こった状態、トラブルの内容、現在の状態
(画面の状態やエラーメッセージなどの内容)

※ご提供いただいた個人情報は、製品のお問合せなどアフターサービス及び顧客満足度向上のアンケート以外の目的には利用いたしません。また、これらの利用目的の達成に必要な範囲内で業務を委託する場合を除き、お客様の同意なく第三者へ提供、または第三者と共同して利用いたしません。

修理について

修理について

本製品の修理をご依頼される場合は、以下の事項をご確認ください。

- お客様が貼られたシールなどについて
修理の際に、製品ごと取り替えることがあります。
その際、表面に貼られているシールなどは失われますので、ご了承ください。
 - 修理金額について
 - ・保証期間中は、無料修理いたします。
ただし、ハードウェア保証書に記載されている「保証規定」に該当する場合は、有料となります。
※保証期間については、ハードウェア保証書をご覧ください。
※ハードウェア保証書に記載された保証期間にかかわらず、パネル、バックライトは1年保証となっておりますのであらかじめご了承ください。
 - ・保証期間が終了した場合は、有料にて修理いたします。
※弊社が販売終了してから一定期間が過ぎた製品は、修理ができなくなる場合があります。
 - ・お送りいただいた後、有料修理となった場合のみ、修理金額をご案内いたします。修理を行うというご返事をいただいてから修理をさせていただきます。
(ご依頼時にFAX番号をお知らせいただければ、修理金額をFAXにて連絡させていただきます。)
- 修理しないとご判断いただきました場合は、無料でご返送いたします。

修理品の依頼

本製品の修理をご依頼される場合は、以下を行ってください。

- シリアル番号などをメモに控え、お手元に保管してください。

お送りいただく製品の製品名、シリアル番号、ご発送いただいた日付をメモに控え、お手元に置いてください。

※製品名 (Model Name)、シリアル番号 (S/N) は、製品背面に貼られているシールに印字されています。

- これらを用意してください

- ・ 必要事項を記入した本製品のハードウェア保証書（コピー不可）
※ただし、保証期間が終了した場合は、必要ありません。

- ・ 下の内容を書いたもの

返送先 [住所/氏名/(あれば)FAX 番号] , 日中にご連絡できるお電話番号, ご使用環境 (機器構成、OS など), 故障状況 (どうなったか)

- 修理品を梱包してください

- ・ 上で用意した物を修理品と一緒に梱包してください。

- ・ 輸送時の破損を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材にて梱包してください。

- ・ ご購入時の製品箱がない場合は、以下のように厳重に梱包してください。梱包が不十分ですと、輸送中に製品が破損してしまいます。(梱包が不十分のために輸送中に製品が破損した場合は、有料修理となりますのでご注意ください。)

- ◆ 液晶パネル部分に、保護するための板やダンボールなどをあててください。

- ◆ 製品が動かないように、緩衝材は上下左右、台座周辺に十分にご用意ください。

※梱包する際、**付属の固定ピンで本製品の台座を固定**してください。

※ご購入時の箱・梱包材がない場合は、厳重に梱包してください。

- 修理をご依頼ください

- ・ 修理は、下の送付先までお送りくださいますようお願いいたします。

※原則として修理品は弊社への持ち込みが前提です。送付される場合は、発送時の費用はお客様ご負担、修理後の返送費用は弊社負担とさせていただきます。

- ・ 送付の際は、紛失等を避けるため、宅配便か書留郵便小包でお送りください。



送付先

〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地

アイ・オー・データ第2ビル

株式会社 アイ・オー・データ機器 修理センター 宛

【ご注意】

- 1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。
したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
- 2) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関する設備や機器、及び海底中継器、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んだの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
- 3) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
- 4) 本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により輸出規制製品に該当する場合があります。
国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。
- 5) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。

- I-O DATA は、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。
- Windows Vista®および Windows ロゴは、米国および他国における Microsoft Corporation の商標または登録商標です。
- Apple, Macintosh は、米国および他の国で登録された Apple Inc.の登録商標です。
- HDMI.HDMI ロゴ,High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。
- その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

LCD-MF241Xシリーズ 取扱説明書 2008. 2. 15
発行 株式会社アイ・オー・データ機器
〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地

© 2007-2008 I-O DATA DEVICE, INC. All Rights Reserved.



アイオー・セーフティ・サービスのご案内

万一の故障時にも安心してご利用いただく為の有償サービスです。優先電話(フリーダイヤル)受付や、故障時のスムーズな代品交換等、各種メニューを取り揃えております。詳細は下記弊社ホームページをご参照ください。

<http://www.iodata.jp/iss/>

直販サイト「アイオープラザ」より

- ①付属品をはじめ、すべての弊社製品を販売中。
- ②万一でも安心の製品保障サービス受付。
- ③新規会員登録で、優待ポイント1,000円分進呈。

※特典内容は予告なく変更する場合があります。

アイオープラザ

www.ioplaza.jp/pkg.htm